

# 久重クロスワードパズルのこたえ

さ と や ま く ら し

① な	が	② し		③ の	い	④ ち	⑤ ご
ず		⑥ げ	⑦ こ	う		⑧ い	⑨ ま
⑩ な	⑪ な	く	さ		⑫ か	き	
	⑬ い	⑭ ら	か		⑮ く	れ	の
⑯ い	と		⑰ と	⑱ く	に	ん	
⑲ や		⑳ く	う	き		⑳ け	㉑ ち
	㉒ と	か	げ		㉓ だ	い	こ
㉔ ち	㉕ さ	ん		㉖ ぎ	む		み

久重地域連携協議会ニュース④号の「新春お年玉クイズ」には73通の応募がありました。新年一月の連携協議会役員会において、正解者の中から厳選なる抽選を行い、十名の方に千円相当の商品券を送らせていただきました。当選されたみなさんおめでとうございます！  
今回は広報委員が出題をしました。まず、久重地域にまつわることを集め、次に、ことばのヒントを考えました。考えれば考えるうちに、久重の魅力を再発見する楽しさが心地よかったです。みなさんぜひ問題を考えて応募してください。出題形式はどんな内容でもかまいません。(間違いさがし、クイズなど…)



抽選は、応募者73人を通して番号をふり、10人の役員が一人1枚、封筒に入れた番号札を引いて当選者を決めました。

## 「久重youth(わかもの)」部会 発足!

新年度より、久重地域連携協議会の部会のひとつに「久重 youth(わかもの)部会」が仲間入りします!  
この団体は、久重地域のテーマ「豊かな里山 次代へつなげ!」をもとに、こどもの視点から、こどもが考えこどもが想像し、協力し合って“豊かな里山を未来につなげる”ことを目的としています。この活動の目的に賛同する、久重地域に関わる(地域在住、特任校で久重小学校に通学する児童、29才までの)こども・わかものをメンバーとしています。「久重 youth」の活動は、こどもたちがアイデアを出し合いメンバーと協力し、地域の方々と手を取り合って里山保全と久重のまちづくりに関わりたいとの思いから発足したものです。  
4月以降にメンバーを募り、話し合いが行われます。久重地域で「やってみたいことがある」、「仲間といっしょに活動したい」、「いっしょに話したい」…と思っているわかものはぜひご参加ください。日時等の詳しい内容は、発足を企画・運営しているこどもたちからの案内の手紙(あかるいまちといっしょに配布予定)をごらんください。大人のみなさんからこどもさんにぜひ、お声がけください。

### ホームページの主な掲載内容

- ① ホーム
- ② 久重のあゆみ
- ③ 久重のまちづくり計画
- ④ 里山とは
- ⑤ 久重の里山保全
- ⑥ 久重のイベント
- ⑦ 久重里山まつり
- ⑧ 久重豊稈祭
- ⑨ 里山とこどもたち
- ⑩ コミュニティスクール
- ⑪ ぐんぐんクラブ
- ⑫ 福祉・健康づくり
- ⑬ 久重型共生社会
- ⑭ オレンジポスト
- ⑮ 安心安全な暮らし
- ⑯ 防災活動
- ⑰ 飲料水など生活環境
- ⑱ 他

【編集後記】「久重のまちづくり計画」、「久重の地区防災計画」、「久重地域連携協議会ホームページ制作」、「久重 youth 部会の発足」、「久重小学校のコミュニティスクール」… これまで積み重ねてきたものが形となってみなさんの元にもうすぐ届きます。福祉のまちづくり、里山保全、こどもを中心にしたコミュニティ、地域課題の解決に向けた取り組み… これからも、地域のみなさんと手を取り合って一致団結で久重地域の飛躍へと進んでまいります! (スノー)  
○久重の魅力が余すことなく詰まったホームページが、いよいよお披露目間近です。地域の人は勿論、色んな方に見て貰えますように♪ (なとみはよれ)  
○一雨ごとに春のにおいが濃くなり、鼻はムズムズ、気分はワクワク。今年の春は久重地域にとって大きなスタートになります。未知の世界だったホームページ作成もようやく完成。ようだいの多い私たちがまとめてくださった、高知ソフトウェアセンターの有光様、本当にありがとうございます(ひろつちゃん)  
○里山らしいホームページ完成。新居の落成式を迎えた気分です。たくさんの人、久重・里山の表札へ訪問ください(りん)

# 久重地域連携協議会



—第45号—  
2023.2.25 発行  
発行責任者：林照男  
編集：広報委員会  
高知市重倉 1596-134  
電話：090-4501-3190

久重地域連携協議会



# 久重

豊かな里山 次代へつなげ!

人と自然がつながり  
人と人が支えあう  
持続可能で輝く久重をめざして

ホームページトップを飾る画像

# ホームページを制作! 3月15日立ち上げへ

昨年からの検討してきた久重地域連携協議会のホームページが、2月24日の制作委員会で、データの保存場所(サーバー)と訪問してもらう住所(ドメイン)を取得、骨格や6つの部屋割りも決まって棟上げの状態までこぎつけました。  
後は内装などの調整を行い、3月15日(日)いよいよ入居(立ち上げ)です。  
「久重地域連携協議会」で検索してもらえれば、いつでも新居を訪問してもらえることができます。  
久重地域の歴史や概要、地域の行事や新着情報、イベントの開催や中止・申込、連携協議会に聞きたいことや意見などなど、連携協議会と久重地域に住む住民の距離感が一層短縮されることは間違いありません。  
掲載される内容は4面に記載します(このご覧ください!)



# 市から水道施設へ特例給付金

物価高騰対策として国からのコロナ交付金を活用して、高知市は上水道利用者に一戸当たり基本料金の8割を6か月間(約4,200円)支援することとしました。

これに対し、久重地域のように上水道の給水区域外住民(Ⅱ水道局へ水道料金を払っていない人)には支援がないことに対し、昨年7月の「市長との意見交換会」で支援漏れの是正を要求、その後の11月臨時議会、12月の定例議会でも市議員を通じて声高に意見を述べてきた結果、水道施設を運営する団体に對し、一戸あたり3,000円を利用戸数分「中山間地域飲料水供給施設物価高騰対策臨時特例給付金」として支給されることになりました。

その経過は、次のとおり。

## えう、久重には支援なし!?

昨年7月高知市臨時市議会が開かれ、国のコロナ交付金を使って物価高騰から市民生活を支援することが決められました。

その内容は、水道局に払っている水道料基本料金の8割を4か月間減額するというものでした。

ところが、私たちのように水道事業の給水区域外にあって、水道局に水道料金を払っていない住民には支援がないということでした。

## 即座に市長に意見

市議会最終日の7月29日がちょうど市長と中山間地域代表者との意見交換会の日というグッドタイミングだったので、すぐにこの問題に触れ、「水道料金での支援だと給水区域外の住民は支援漏れになる」と議事を終えたばかりの市長に意見をしました。

市長からは「急な対応で時間がなかったので事務的に煩雑でない方法、また一斉現金給付のように経費がかからない方法を選択せざるを得なかった」と説明がありました。そして、次回

交付金があるときは支援漏れについて検討すると答えてくれました。

## 市議員に働きかけ

11月に再び臨時市議会が開かれ、2回目のコロナ給付金についての対応が議題になりました。

水道料金支援の2か月延長(合計6か月)一戸当たり4,200円程度)は議案説明でありましたが、給水区域外住民への支援ははっきりしませんでした。

そこで市議員に7月のいきさつを話し、給水区域外住民への支援がどうなっているのか正してもらおうと求めました。

市の解答は、「12月定例議会に諮る」というものでした。

## 一戸当たり3千円を支援

12月定例市議会ですと給水区域外住民への支援策が出されることになりましたが、その内容は住民個々ではなく、給水区域外で水道施設を運営する団体に対し運営費を支援しようとするもので、一戸当たり3,000円を利用戸数分支援するというものでした。

すでに事務手続きは完了し、2月中には各団体に給付されます。

3,000円の根拠について、市は市が直接運営している4施設(90戸)の年間維持管理費の6か月分を一戸あたりに換算したら2,900円余になり切り上げて3,000円にしたと説明しています。



2月11日の最終の策定会議(第9回)にも厳しい寒さの中45人が参加。1年半の検討をたたえながら集合写真に収まりました。

まちづくり計画 策定スケジュール	
6/18	第6回策定会議
7/16	第7回策定会議
10/8	第8回策定会議
11/19	第1回編集会議
12/10	第2回編集会議
1/21	第3回編集会議
1/18	第4回編集会議
2/11	第9回策定会議
7/17	第1回策定会議
10/9	第2回策定会議
11/13	第3回策定会議
12/4	第4回策定会議
5/14	第5回策定会議

## 成果と課題を抱えた結果

久重地域には9つの給水施設を運営している団体があり、そのうち久重地域戸数の半分近く8団体233戸をコミュニティが運営しています。

私たちの取り組みもあって、この233戸には給付金が運営団体に支給されることになりましたが、支援格差や団体以外の住民には支援漏れが残されたままになっています。

国のコロナ給付金は廃止になったと来年度予算のなかで説明されていますが、この課題については別の財源で対応できないか、今後とも意見を述べていきたいと考えています。



オレンジポスト 投稿(11月~2月)

# バスダイヤ改正, 地域の悪臭, 道路の補修

投稿  
バスダイヤ改正の申し入れ  
11月15日回収分

「久重地域のバス運行及びデマンドタクシーに関する申し入れ」を久重地域住民代表として高知市に申し入れてほしい。

内容は、10月のバスダイヤ改正で最終便の中泉寺発が18時07分から17時37分に早まり、通勤の時間に合わなくなり徒歩で1時間半以上かけて通い、体にも支障が生じている。改正前の時間に戻してもらいたい。デマンドタクシーもバスダイヤに直結しているので合わせて改正を。

また、改正案は事前に住民に確認してもらわなければならないか。

## 役員会の対応

12月4日の役員会で対応策を検討しました。

まず、バスダイヤについては土佐山から電車通りを抜けて鏡までのすべての住民に影響するもので、久重地域だけの要望を押し通すことはどうか、また事前に確認を求めたいのことはそれぞれの地域が思い思いのことは主張すればまとまらずやはり無理があるとの考えになりました。

ただし、久重地域の住民から声が上がっていることは行政に伝えるべきとの考えで、申し入れ書は交通戦略課へ届けることとしました。

2月8日交通戦略課を訪問。申し入れ書を手渡すとともに、最終便が早くなる原因や解決策を話し合いました。

原因は極端な運転手不足でした。少ない運転手で全便を回すには、時間外労働に頼らざるを得ず、拘束時間を縮めるために朝便を遅らすことはできず最終便を早めざるを得ないとの事情でした。解決するには運転手の数を確保することですが、経営難で賃金・労働条件を向上させることもできず、免許をとる人もほとんどいなくなっている現状のようです。

まさに負のスパイラル状態に陥っているとの感がしましたが、このままでは利用者離れがすすみさらに現状は悪化せざるを得ないので十分な対策を講じるよう求めて席を立ちました。

## 役員会の対応

1月23日の役員会で対応策を検討しました。

役員で悪臭を感じている人を訪ねたらひとりだけでした。投稿者も事業所も見当がつかないので、市役所がどういった対応をしたのか、市役所で聞いてみることにしました。

焦点は、悪臭が法律や条例に違反する状況かどうかで、個人が要望するかどうかやアンケートで住民の意向を把握するかどうかはその次の課題と考えています。

2月8日、廃棄物対策課と環境保全課を回ってきました。環境保全課が対応したようで、対応記録が文書に残されていて、それに基づいて説明がありました。

9月16日に廃対課と保全課で事業所への立ち入り検査を行ったようですが、焦げたにおいにはあるものの強いにおいではなく、悪臭防止法の規制物質にはあたらず、指導対象にはならないと判断したようです。

その結果を当日本人に連絡、しばらく様子を見ていたが何の連絡もなかったので完結にしているとのことでした。

悪臭分析調査をしたのかどうか聞いたところ、委託料が22万円ほどかかるので、何でもかんでも調査というわけには行かないとのことでした。

状況は役員会へ報告しますが、市長との意見交換会に悪臭分析調査の実施を要望することになるかわかりませんが、その時は誠実な回答をお願いします、と言って帰ってきました。

今後の状況を見ながらさらに悪臭がひどくなるようなら、悪臭分析調査の実施を求めていくこととします。

投稿  
道路の補修  
2月15日回収分

旧佐藤家に入る道で、土が水で流れ空洞になっているので補修をしてもらいたい。

## 役員会の対応

役員会のメールのやり取りで、久礼野自治会が対応することになりました。

ポストにエースワンのレシート  
2月15日の回収時にエースワンのレシートが34枚の束と別のポストに1枚のレシートが投函されていました。レシートの1%の額が保育園の運営資金になります。1枚はお年玉クイズの商品券で買い物をしたときのレシートでした。これからもどんどん投函をお願いします!



投稿  
地域の悪臭の解消を  
12月31日回収分

重倉地区全域に悪臭(下水汚泥や廃材の発酵)が漂い、吐き気やのどが痛くなったりする。

夜間のことは警察が対応することと、悪臭の原因となっている事業所の見当がなかったので警察に注意をしに行ってもらったが、改善されない。

警察に市役所からの指導をお願いしたら、後日市役所が指導することになったと返事がきたが一向に改善されない。

個人の要望では弱いので地域の要望として取り上げてもらえないか。また、同じ思いをする住民もいると思うのでアンケートをとってもらえないか。